

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	リベラルアーツ特論2 (論理と集合)	
科目基礎情報							
科目番号	4ER32		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気電子工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	沖田 匡聡						
到達目標							
集合・位相といった概念を理解でき様々な問題を解くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	行列のジョルダン標準形の計算ができる。		行列のジョルダン標準形について理解できる。		行列のジョルダン標準形について理解できていない。		
評価項目2	線形空間について様々な概念が理解できている。		線形空間について理解できる。		線形空間について理解できていない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	行列のジョルダン標準形何かを学ぶ。						
授業の進め方・方法	講義と演習により行う。講義・演習・レポートなど、この授業に積極的に参加することを期待する。						
注意点	<p>評価方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題により評価する。課題は小テストやレポートである。 ・評価方法は、課題の点数60%、平常点40%とする。なお、平常点とは授業中の態度や授業への取り組み方による評価である。 ・再試験は実施しない。 ・60点以上の成績を得ることが合格のための必要十分条件である。 <p>諸注意：授業時に示す課題についてレポートを作成すること。</p>						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	集合論			集合の定義が理解できる。	
		3週	写像			単射、全射等を理解する。	
		4週	線形空間			線形空間の定義を理解する	
		5週	写像			逆像、逆写像を理解する。	
		6週	部分空間			部分空間定義が理解できる。	
		7週	線形空間			線形空間の基底と次元について理解する	
		8週	線形写像			線形写像について理解する。	
	4thQ	9週	線形写像			核や像について理解する。	
		10週	表現行列			線形写像の表現行列を求めることができる。	
		11週	行列の対角化			行列の対角化について復習する。	
		12週	ジョルダン標準形			ジョルダン標準形の証明	
		13週	ジョルダン標準形			ジョルダン標準形について理解する	
		14週	ジョルダン標準形			ジョルダン標準形の計算をする。	
		15週	まとめ			線形空間についてまとめ	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	0	0	30	30	10	100
基礎的能力	0	0	0	30	30	10	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0